文化

新禧　高山　辰雄

初春、飛天と空へ

◇人々の天上へのあこがれ追い求めアジア巡歴◇

吉永　邦治

天衣をたなびかせ、のびやかに天空を舞う……。古代の人々は天上へのあこがれの象徴として、光、空気、水などを擬人化し、優美な飛天の姿を作り上げた。

私は三十年余りの間、遺跡や石窟（せっくつ）の壁面などに描かれた飛天の姿を追って歩いてきた。インド、アフガニスタン、パキスタン、チベット、インドネシア、カンボジア、中国、朝鮮半島、日本など、ユーラシア全域を巡歴した。写真に収め、スケッチした飛天は、計り知れない数に上る。

＊＊＊

チベットで「飛ぶ」感覚ときっかけは、四十年ほど前にさかのぼる。ドイツに遊学した当時の私は、西洋美術にあこがれ、西洋人への変身を夢見る若者だった。だが西洋人への接点は見いだせなかった。その後、ふらりとインドに行き、目からうろこが落ちた。人間と動物とが一緒に生活する光景、ガンジス川の流れに身を任せて沐浴（もくよく）する人々の姿を見て、心の中に宇宙を取り込んだアジア的な自然観が自分の内にあることに気付いた。帰国して、インドに似た雰囲気のある高野山の高野山大学に入り、東洋美術、仏教美術を学ぶ中で、チベットの山に登り、五千㍍もの峠に立った。風に吹かれて、雲が目の前を過ぎていく。このまま足を踏み出して雲に乗れば、天空を飛んでいけるのではないかという錯覚に陥った。インドは飛天発祥の地ともいわれるが、こうした環境の下で生まれたのは、実に自然なことだと思えた。

西洋では、キューピッドのような有翼の天使が盛んに描かれた。物理的な浮揚力を生む翼で飛ぶというのは、西洋らしい合理的な思考だ。これに対し、インド以東の飛天の多くは翼を持たず、上半身に衣をまとい、風を受けて飛ぶ。

飛天は仏教の東漸ルートに沿って東に伝わった。その中で、何千年もの時の流れを感じさせながら、微妙に姿を変えていく。その軌跡をたどってみよう。

古代インドの飛天は、インド最古の文献「リグ・ヴェーダ」に出てくる半神ガンダルヴァやアプサラスなどが源だが、やがて仏教に取り入れられ、仏をたたえ、守るという役割を担う。マトゥラーやサールナートというインドの仏教遺跡では、仏坐像の光背部分に浮き彫りにされた飛天に出合った。足を折り曲げ、人間が大きくジャンプしたような格好をしていて、まだ飛天らしさは少ない。

アフガニスタンやパキスタンなど、西方の影響の強い中央アジアでは、有翼天使のような姿と、翼なしで空を駆ける飛天が混在している。昨年、タリバンによって破壊されたバーミヤンの高さ五十五㍍の大仏龕（がん）天井には、ここに掲げたスケッチのような飛天が描かれていた。天人一体と天女二体が一組になっている。彩色豊かで珍しいものだっただけに、破壊されたのは残念でならない。

シルクロードを旅していた時のこと。オアシス沿いの町でスケッチブックを広げていると、どこからともなく子供たちが集まり、口々に「自分の顔を描いて」と迫ってきた。やがて大人たちまでも続々とやってくる。こんな人数では何年かかっても無理だと思って車で逃げ出した。が、走っても走っても、馬やラクダを駆って飛天のごとく追ってくる。不思議なことに、この地域には、彼らが馬に乗っている時のような姿勢の飛天が多く描かれていた。

＊＊＊

折れた足で石窟登って

旅先では思わぬことが待ち受けている。中国の西域地方、天山南路を車で何百㌔もひた走った後、キジル石窟を目の前にして、足を骨折してしまった。石窟には、風が吹くと揺れ動くような細いはしごが一本かかっているだけ。私は飛天を見たい一心で、一段一段、足をひきずりながら、よじ登っていった。美しく着飾り、天界の楽器を奏する飛天が多く描かれていた。同業他社も「赤字は必至。ヤマトはつぶれる」と見ていた。しかし、私には確信があった。運輸省（現国土交通省）が路線免許の申請を五年もたなさらしにしたときも、行政訴訟を起こして戦った。この事業は消費者が支持してくれる、と信じていた。

今も心の中に宅急便の原点がある。福祉の分野でも「障害者は低賃金でもやむを得ない」という固定観念を打破したい。それが経営者としての意地である。（ヤマト福祉財団理事長）

＝愚子も筆者

私の履歴書①

小倉昌男

これまでに自分がやり遂げた最大の仕事は、ヤマト運輸で日本初の宅配便である。一九九五年（平成七年）に同社を離れたが、今は新たな「経営目標」に挑んでいる。

理事長を務めるヤマト福祉財団を通じ、障害者の自立と社会参加を支援することだ。よりよい人間社会の実現を目指す。

新たな目標

財団が主催する「経営セミナー」の初日である。参加者は、障害者が働いている施設の責任者や職員。昨年は全国九カ所で実施している。

冒頭、私はこう語りかけた。

「皆さん。ふだん障害者のために一生懸命働いておられ、本当にご苦労様です。皆さんは立派な事業をしていると思っているでしょう。しかし私はそうは思いません」。全員の顔におやっという表情が浮かぶ。「あなた方のやっていることは、ちっとも良くありません」と続けると怒りの色が一斉に広がった。

「なぜか言いましょう。あなた方は働く障害者に幾ら給料を払っていますか。平均すると月に一万円程度ではないですか」。むっとした顔の中に、弱い所を突かれたというように目を伏せる人が交ざっている。

障害者は就労のチャンスが少ない。そこで親御さんたちは障害児を集めて共同作業所などと呼ばれる施設をつくり、下請け作業などをやらせる。しかし、空き缶を拾ってつぶす仕事などでは収入はわずかである。平均すると月一万円。六年前、初めて聞いたときは耳を疑った。そして怒りが込み上げてきた。許せない。この豊かな日本で月給一万円はどうしても許せない。

障害者の自立を支援

経営改革で月給引き上げ

障害基礎年金があるといっても、親がしっかりしていなかったりしてしまう。保護より自立を支援することが大切だと思う。だから、セミナーではまず憎まれ役になり、挑発するのである。

「なぜ一万円しか払えないのですか。それは施設の経営が良くないからです。障害者は働く能力が低いから仕方がない、と言うのでしょう。障害者だって能力はあります。それを引き出して活用しないからです」

考えてみると、福祉関係者には経営の知識が薄い。私には福祉の知識はないが、経営は分かっている。よし、それなら経営を教えようと思って六年前からセミナーを始めたのである。

「私は現在、スワンという焼きたてパンの会社を経営しています。皆さんもこのセミナーで経営を勉強し、実践して十万円以上払ってあげてください」。怒った顔が緩んできて、和やかな雰囲気が漂い始める。数年前に「目標十万円」と言い出した時、福祉関係者からは「夢のような話」「世界が違う」と否定的な声ばかりだった。経営危機に陥っていたヤマト運輸で、宅急便を始めたころの記憶がよみがえってくる。

「家庭から荷物を集めて全国に配送しよう」と決断したときも周囲の反応は同じだった。小口では採算が合わない、と役員は、風が吹くと揺れ動くような細いはしごが一本かかっているだけ。私は飛天を見たい一心で、一段一段、足をひきずりながら、よじ登っていった。美しく着飾り、天界の楽器を奏する飛天が多く描かれていた。

最近の筆者

交遊抄

誰の話を書くか迷ったが、今日は山の仲間を紹介したい。麻布中学、高校の一年上にいた猛者が、先ごろ東京福原フィルムの社長を退いた近藤隆治さんである。高三の冬、高校生として初めて極地法で鹿島槍ケ岳に挑み、見事に成功した。が、すべての教師が予想した通り、すべての大学受験に失敗した。

予備校に入ると、山岳部を結成し二、三年にわたって主将を務めた。山登りをやりながらメンも食わねばいけないというわけで、選んだ職業が山岳カメラマン。三浦雄一郎さんの富士山、そしてエベレストの大滑降は近藤さんのカメラを通じて世間をあっといわせた。若い時から髪が薄かったものだから、三浦さんは「カメラマンならぬハゲラマン」と呼んだ。仲間うちでは、今でもその愛称で通る。

近藤さんを通じ、故植村直己さんをはじめ多くの山男と知り合いになった。中辺夏雄教授がいる。

私の内閣で行革会議をつくった時、頼んで事務局に入ってもらい、大活躍していただいた。

一番若い山仲間は野口健君だろう。八八年隊が残した酸素ボンベを八千三㍍の所から回収し、届けてくれた。野口君のサインが入ったこのボンベ。私は反省の意味を込めて事務所に置いている。（はしもと・りゅうたろう＝元首相）

山がいちばん

橋本龍太郎

一年上にいた猛者が、先ごろ東京福原フィルムの社長を退いた近藤隆治さんである。高三の冬、高校生として初めて極地法で鹿島槍ケ岳に挑み、見事に成功した。が、すべての教師が予想した通り、すべての大学受験に失敗した。

予備校に入ると、山岳部を結成し二、三年にわたって主将を務めた。山登りをやりながらメンも食わねばいけないというわけで、選んだ職業が山岳カメラマン。三浦雄一郎さんの富士山、そしてエベレストの大滑降は近藤さんのカメラを通じて世間をあっといわせた。若い時から髪が薄かったものだから、三浦さんは「カメラマンならぬハゲラマン」と呼んだ。仲間うちでは、今でもその愛称で通る。

近藤さんを通じ、故植村直己さんをはじめ多くの山男と知り合いになった。中辺夏雄教授がいる。

私の内閣で行革会議をつくった時、頼んで事務局に入ってもらい、大活躍していただいた。

一番若い山仲間は野口健君だろう。八八年隊が残した酸素ボンベを八千三㍍の所から回収し、届けてくれた。野口君のサインが入ったこのボンベ。私は反省の意味を込めて事務所に置いている。（はしもと・りゅうたろう＝元首相）

平成十三年度全国茶品評会 第一位
農林水産大臣賞
金賞 新春 天授
特等 天福茶
20g缶 金印 二,二〇〇円
40g缶 銀印 一,二〇〇円
一〇,〇〇〇円
寄贈 久 小山園
・全国主要百貨店、また日茶連通販にお問い合せください。
〒四〇八 静岡県富士宮市小倉寺四四
TEL(〇五五四)二〇-〇〇〇〇
http://www.marukyu-koyamaen.co.jp